

学習課題(小学校5年生)



【理科】

<学習内容> 「物のとけ方」

◆「物が水にとけるとは」「物が水にとける量」（教科書 101～109 ページ）について、取組シートやノートにまとめましょう。

(1) 教科書 101～102 ページについて、水の中で、とけた物はどうなっているかについて考えましょう。

水 50mL をそそいだグラス等をいくつか用意します。
 コーヒーシュガー（茶色のさとう）、かたくり粉などを計量スプーンで1ぱいとり、それぞれ別の水に入れ、はしなどでかき混ぜます。
 よく混ぜたら、次の日までそのままにしましょう。

- ①それぞれの液の様子を観察して、表にまとめましょう。どのようなちがいがありましたか。
- ②結果から、どのようなことが言えるか、教科書 102 ページも参考にして考えを書きましょう。

水に入れた物	液の中の様子
コーヒーシュガー	
かたくり粉	

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School「食塩と小麦このとけ方」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005400756_00000&p=box



(2) 「実験 2」（教科書 103～104 ページ）物が水にとける量について調べましょう。

①50mL の水をはかりとり、グラス等に入れます。食塩を計量スプーンですり切り 1 ぱいずつ水に入れると、何ぱいまでとかすことができるか調べましょう。

※入れる量が増えると、とける様子はどうなっていくかな。

②ミョウバンも同じように水に入れると、何ぱいまでとかすことができるか、教科書 104 ページの結果を見て、表にまとめましょう。

③それぞれの実験の結果から、どのようなことがいえるか、考えを書きましょう。

とかした物	食塩	ミョウバン
50mL の水にとけた量		

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、決まった量の水に溶ける物（食塩やミョウバンなど）の量には、限りがあること、物によって水に溶ける量には違いがあることに気付くことを大切にしています。
- ・可能であれば、教科書に書かれている実験について、実際にご家庭で活動をしてください。その際には、保護者の方と安全を十分に確認した上で、観察を行うようにしてください。
- ・ガラスのグラス等を使用して実験する際には、破損することのないよう、気を付けてください。